

富山県立乳児院通信



— 令和7年 夏号 —

● 発行元 ●

日本赤十字社富山県支部受託
富山県立乳児院
富山市牛島本町2丁目1番38号
電話 076-432-8137
FAX 076-432-8238



庭に植えたミニトマト🍅
今年もたくさん実ができて子どもたちが一生懸命収穫してくれています。

〈富山県立乳児院ってどんなところ?〉

いろいろな事情により、家庭で育てることができない乳幼児（0～3歳まで）を保護者にかわって24時間養育する施設です。（児童福祉法37条に規定された児童福祉施設です。）



ご寄付、ご寄贈 ありがとうございます。

お 名 前	
<4月>	久道さん（射水市） 吉田さん（黒部市） 菅原さん（富山市）
<5月>	吉田さん（黒部市）
<6月>	湯浅さん（富山市）

※同意していただいた方のお名前のみ記載しています

◆寄付金、未使用衣類、未使用バスタオル、おむつ等のご寄付をお待ちしております。

富山県立乳児院の理念・基本方針

●理 念

児童福祉法及び児童憲章に基づき、安全で安心できる
良質な生活の場を提供します。

●基本方針

1. 入所児童を中心に安全で安心できる生活の場を提供します。
2. 個人情報大切に保管、管理します。
3. 児童相談所や、地域と連携して入所児童や、ご家庭を支援します。
4. 職員や実習生に対する教育を充実し、次代を担う養育者を育成します。
5. 災害時（地震・火事・水害）の救護に関して訓練致します。
6. 常に赤十字病院と連携し、病気等に対して迅速に対応します。
7. 入所児童の健全な発育を促進し、保健衛生に心がけます。

「苦情申出窓口」の設置について

富山県立乳児院では利用者からの苦情に適切に対応する体制を整えています。

苦情解決責任者、苦情受付担当者及び苦情解決相談員を下記により設置し、子どもが健全に育つよう、利用者の方に安心していただけるよう苦情解決に努めることとしていますので、些細なことでもお気づきの点がございましたらどうぞお聞かせください。

- | | |
|------------|----------------------------------|
| 1 苦情解決責任者 | 佐藤 真由美（院長補佐） |
| 2 苦情受付担当者 | 荒川 智江子（事務長） |
| 3 苦情解決相談員 | 本間 一正、 岡田 芳美 |
| 4 苦情解決の方法 | 担当者が随時、面接、電話、書面などにより受け付けます。 |
| 5 苦情解決の連絡先 | 電話：076-432-8137 FAX：076-432-8238 |

管理栄養士より

もぐもぐだより

乳児院では日本の伝統的な四季折々の行事の際に、その行事にまつわる料理や子どもたちが喜びそうな料理とおやつを提供して、楽しみながら日本の食文化に触れる機会としています。

7月3日には「七夕献立」として星型のハムやにんじん、オクラなどを飾り付けたそうめんやたこ焼きなどを食べました。子どもたちはいつもと違う特別感を味わいながら、とても良い笑顔で美味しそうに食べていました。



これからの行事

9月

運動会



10月

秋の遠足 ハロウィン



富山県里親支援機関事務局

今年の「富山県里親講演会」は、8月です！！

講演会では「『助けて』が言えないこどもの心理」と題し、心療内科医である高木英昌先生に、昨今のこどもの「心の事情」についてお話しいただきます。

パネルディスカッションでは、3名の現役里親さんに登壇いただき、フリートークを繰り広げていきます。

里親制度の個別相談会も
随時開催しています

開催は、例年より早く、8月30日（土）です！ 詳細はコチラから➡



病児保育室 おひさま

0歳～未就学児のお子さんで、病気や病気回復期にあるため
集団保育や家庭での保育ができない時に、一時的にお預かりする保育室です。

利用時間 月曜日～金曜日 8:00～17:30
(ただし、祝日、5/1、12/29～1/3は除く)

利用料 1回2000円(昼食・おやつ代含む)
とやまっ子子育て応援券の利用できます。
富山市ひとり親家庭病児保育利用料助成制度の利用も可能です。

盛夏の候、暑さで子どもの体力が落ちやすい季節です。睡眠・食事などの生活リズムを整えましょう。体調を崩した時は、病児保育の利用もご検討下さい。

お問合せ (080) 8697-2773(直通) 電話受付時間 7:30～17:00
※但し状況に応じて電話に出られない場合がありますので、あらかじめご了承下さい。





えんそく

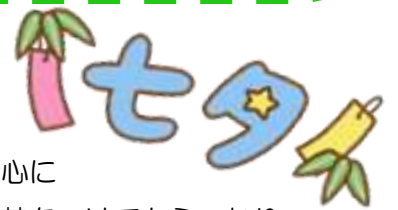
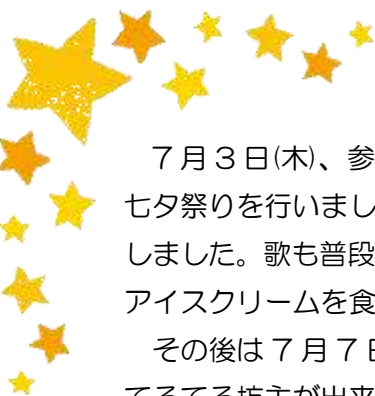


5月14日(水)公用車に乗り立山町防災児童館複合施設「アカリエ」に遠足に行きました。初めは大きな遊具、沢山のおもちゃ、沢山の人に少し緊張気味だった子どもたちでしたが、外のベンチでおやつジュースを飲み、元気満タンで遊び始めました。外ではブランコや大きな滑り台などで遊びました。表情も大分柔らかくなり養育者や友だちを誘って遊びに行く姿も見られました。

室内の絵本コーナーでは、最近子どもたちの中で流行っている「はらぺこあおむし」の絵本やぬいぐるみに大興奮。

はらぺこあおむしの歌を歌いながら何度も読んでいました。

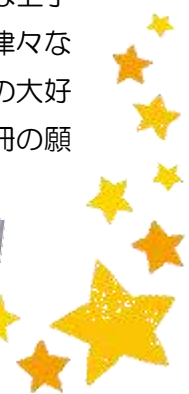
帰院後は遊戯室でサンドウィッチ弁当を食べました。たくさん動いてお腹がぺこぺこだったようであっという間に完食しました。



7月3日(木)、参加者のほとんどが乳児さんの中、4人の女の子を中心に七夕祭りを行いました。可愛い甚平を着て、髪を結んでもらったり、お花をつけてもらったりしました。歌も普段よりも大きな声が出ていました。おやつはチョコレートソースのかかったアイスクリームを食べて、子どもたちは冷たさにびっくり！甘さに感激☆していました。

その後は7月7日晴れますようにと「てるてる坊主」を製作しました。表情豊かな4つのてるてる坊主が出来上がり、当日は織姫と彦星が会えるよう皆でお祈りしました。

七夕にちなんだ星のトンネルやトランポリン、丸めた新聞紙を飛び越えるコーナーでは上手にぴょんぴょん跳べました。ままごとコーナーでは、普段触ったことのない道具に興味津々な様子で楽しんでいました。昼食はそうめんにとこ焼、アンパンマンポテトと子どもたちの大好きな食べ物ばかりで、お腹いっぱい楽しいお祭りは終わりました。みんなが書いた短冊の願い事が一つでも多く叶いますように。



7月14日(月)に、北陸中日新聞社会事業団様より図書カードのご寄付をいただきました。贈呈式では、北陸中日新聞の村瀬富山支局長(写真左)から津幡院長(写真右)に手渡されました。子どもたちが大好きな絵本の購入に使わせていただきます。ありがとうございました。